

1 地区名：栗原市花山地域 事業開始年度：令和5年度

(1) 地域関係者

一般社団法人はなやまネットワーク 等

(2) 地域の概要

栗原市花山地域は、地域資源が豊富にあり、当該資源を活用した様々な取組を実施している地域。

(3) 昨年までの主な活動内容

年度	実施日	内容	
R5 年度	10 月 14 日	意向調査	(一社) はなやまネットワーク事務局に意向調査を行った。 また、花山地域の現状と課題を整理し、長期的な目標設定を行った。
	11 月 21 日	先進地視察	大崎市鳴子地域で活動する鳴子温泉もりたびの会を訪問し、先進地視察を行った。
	11 月 30 日	ワークショップ①	先進地視察の振り返りと地域資源の抽出、整理及び分析を行った。
	12 月 11 日	ワークショップ②	勉強会に向けた事前共有と体験プログラムの企画検討を行った。
	12 月 13 日	勉強会①	台湾で活動する廣輝國際管理顧問有限公司の山口氏を講師に迎え、勉強会を行った。
	12 月 18 日	ワークショップ③	勉強会①の振り返りと地域関係者との連携について協議を行った。
	1 月 25 日	勉強会② ワークショップ④	(一社) 栗原南投日臺交流協会の岩田氏を講師に迎え、勉強会を行った。 体験プログラムの企画検討を行った。
	2 月 29 日	フォローアップ 参加者の募集	令和5年度の活動の振り返りと次年度の方向性等の共有を行った。 ミドル体験プログラムの参加者の募集を行った。
R6 年度	9 月 30 日	プログラム企画支援①	ミドル体験プログラムの募集内容の詳細(期間、行程、料金等)を検討した。
	10 月 9 日	プログラム企画支援②	ミドル体験プログラムの参加者募集チラシの記載内容について最終確認、台湾頭城でのPRの準備物等の確認を行った。
	11 月 15 日	プログラム企画支援③ 次年度支援①	台湾頭城でのPR結果を踏まえ、体験プログラムの内容を再検討した。 ターゲット設定、ロング体験プログラムについて検討した。
	1 月 27 日～ 29 日	プログラム①	インバウンド専門の旅行会社のモニターツアー(視察)を実施し、体験コンテンツや観光資源を案内し、インバウンドの可能性等についてヒアリングした。
	1 月 31 日～ 2 月 2 日	プログラム②	
	2 月 13 日	次年度支援② 研修会 フォローアップ	今年度の体験プログラム受入を踏まえ、次年度の取り組み方を検討。今年度深まった台湾との人脈、旅行会社との連携でインバウンド受入を目指すことに

			なった。 体験プログラム受入の振り返りを行い、インバウンド受け入れのポイントについて意見交換と課題整理を行った。
	2 月	次年度に向けた取組	東南アジアの福祉系大学や台湾の高校生の教育旅行受入について企画検討・調整を開始。

(4) 目標

令和7年度の目標	1. ミドル体験プログラム（1週間程度）を実施する。 2. プログラムの継続に向け、体験コンテンツの体系化等、準備を行う。
----------	---

※（参考）

WS等で挙げた地域資源：

花山湖（花山ダム）、キャンプ、溪流釣り、そば打ち体験、山菜、イワナ、御番所豆腐など

2 地区名：大崎市鳴子地域 事業開始年度：令和5年度

(1) 地域関係者

鳴子温泉もりたびの会、山ふところの宿みやま 等

(2) 地域の概要

大崎市鳴子地域は、豊かな自然環境と鳴子温泉を活かした観光業が盛んな地域。

(3) 昨年までの主な活動内容

年度	実施日	内容	
R5 年度	10 月 18 日	事業説明①	大崎市産業経済部農政企画課へ事業説明を行った。
	10 月 19 日	事業説明②	大崎市鳴子総合支所へ事業説明を行った。
	10 月 30 日	意向調査①	地域住民 2 名に意向調査を行った。
	11 月 1 日	意向調査② 事業説明③	地域住民 2 名に意向調査を行った。 鳴子まちづくり協議会会長へ事業説明を行った。
	11 月 16 日	事業説明④	鳴子まちづくり協議会会員へ事業説明を行った。
	11 月 20 日	意向調査③	地域住民 1 名に意向調査を行った。
	11 月 21 日	ワークショップ①	地域資源の抽出、整理及び分析を行った。
	11 月 30 日	先進地視察	陸前高田市で活動する NPO 法人 SET を訪問し、先進地視察を行った。
	12 月 21 日	研修会	デンマークで活動するニールセン北村氏を講師に迎え、研修会を行った。
	1 月 18 日	ワークショップ②	体験プログラムの企画検討を行った。
	1 月 23 日	ワークショップ③	地域資源の抽出、整理及び分析を行った。
	2 月 15 日	ワークショップ④	体験プログラムの企画検討を行った。
	2 月 22 日	ワークショップ⑤	体験プログラムの企画検討を行った。
	3 月 6 日	フォローアップ	令和5年度の活動の振り返りと次年度の方向性等の共有を行った。
	3 月 8 日	参加者の募集	ミドル体験プログラムの参加者の募集を行った。
R6 年度	9 月 18 日	プログラム企画支援 ①	ミドル体験プログラム実施の際の役割や地域との関わり方について検討し具体的に確定した。
	9 月 22 日 ～27 日	プログラム	鳴子地域において 1 週間の滞在型プログラムを実施した。
	9 月 23 日	プログラム企画支援 ②	外部講師による講演とプログラム参加者を地域の人 が案内するまち歩きイベントを実施した。
	10 月 9 日	次年度支援①	1 週間プログラムの振り返りと検証を行った。 1 か月コースに向けたプログラムを策定した。
	12 月 10 日	次年度支援②	ロング体験プログラムに向けて開催概要、拠点、地域の関わり方等についての検討をした。 研修会に向けての説明をした。
	1 月 23 日	フォローアップ	長期滞在における宿泊場所確保の課題について地域の情報共有を元に検討した。 集客対策についてプログラムのブラッシュアップやターゲットの明確化について検討した。
	2 月 28 日	参加者の募集	ロング体験プログラムの開催に向け、HP で 1 か月コー

			スの募集を開始した。
--	--	--	------------

(4) 目標

令和7年度の目標	1. ロング体験プログラム（1か月程度）を実施する。 2. プログラムの継続に向け、法人の設立や財源の確保等、準備を行う。
----------	--

※（参考）

WS等で挙げた地域資源：

温泉、旅館、スキー場、鳴子こけし、鳴子漆器、鬼首神楽、ゆきむすびなど

3 地区名：川崎町前川地域 事業開始年度：令和6年度

(1) 地域関係者

株式会社百 等

(2) 地区の概要

川崎町前川地域は、自然に恵まれ山林を活用した林業などが盛んな地域。

(3) 昨年までの主な活動内容 (R5 年度は委託業務外：都市農村交流支援業務)

年度	実施日	内容	
R5 年度 ※委託業務外	9 月 5 日	ワークショップ①	現地フィールドワークの目的、テーマ、ターゲット等を設定した。
	10 月 6 日	ワークショップ②	オンラインイベント、現地フィールドワークに向けて準備した。
	10 月 13 日	オンライン マッチングイベント	サンカクを用いたオンラインマッチングイベントを開催した。
	10 月 16 日	アンケート調査 フォローアップ	オンラインマッチングイベント参加者にアンケート調査した。
	10 月 21 日	オンライン マッチングイベント	サンカクを用いたオンラインマッチングイベントを開催した。
	10 月 23 日	アンケート調査 フォローアップ	オンラインマッチングイベント参加者にアンケート調査を実施した。
	10 月 27 日	ワークショップ③	現地フィールドワークに向けて準備した。
	11 月 1 日	オンライン マッチングイベント	Zoom を用いたオンラインマッチングイベントを開催した。
	11 月 18 日 ～ 11 月 19 日	現地 フィールドワーク	現地フィールドワークを開催した。
	12 月 26 日	ワークショップ④	現地フィールドワークの振り返りを行った。
	1 月 24 日	アンケート調査 フォローアップ	フォローアップを実施した。
R6 年度	9 月 13 日	意向調査	事業内容、想定スケジュールを確認した。 プログラムを実施するにあたっての要望、課題をヒアリングした。
	10 月 1 日	プログラム企画支援 ①	プログラムのターゲットを設定した。 参加人数、時間を確認した。 広報について検討した。
	10 月 22 日	プログラム企画支援 ②	体験プログラムの内容を検討した。 広報について確認した。
	12 月 24 日	プログラム企画支援 ③	広報に関する状況を報告した。 今後の集客について検討した。
	1 月 26 日 ～27 日	プログラム①	1 泊 2 日の里山体験プログラムを実施した。
	2 月 1 日～ 2 日	プログラム②	1 泊 2 日の林業体験プログラムを実施した。

	2月5日	次年度支援①	プログラムの振り返りを行った。 次年度プログラム構築にあたっての意見交換をした。
	2月7日	次年度支援②	次年度のプログラムを検討した。 広報について検討した。
	2月10日	フォローアップ	参加者アンケートを共有した。 今年度実施プログラムの重点ポイントと課題について共有した。
	2月13日	研修会の参加	今年度の取り組みを紹介した。
	2月	参加者の募集	募集WEBページと参加者募集フォームを作成した。

※（参考）

地域資源：

温泉、山林、水車、窯、山菜、野菜、養豚 など

令和7年度の目標	1. ミドル体験プログラム（1週間程度）を実施する。 2. プログラムの継続に向け、体験コンテンツの体系化等、準備を行う。
----------	--